

このメールマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報やその他の産業保健情報について配信しています。

目 次

1. 監督署に提出する届出様式等のご案内
2. 産業保健セミナー（9・10月の予定）のご案内
3. 8月のセミナー結果
4. 関係機関の動き

監督署に提出する届出様式等のご案内

労働局や労働基準監督署に申請または届け出を行う場合に使用する様式等が、厚生労働省のホームページに掲載されています。

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/zigyonushi.html>)

機械で読み取りを行うため、印刷に使用する用紙について、白色度80%以上の用紙（A4 普通紙）とするなどの注意事項がありますが、これを利用すれば届出用紙をもらいに労働基準監督署へ行く必要がなくなり便利です。

9月1日から全国労働衛生週間の準備期間が始まります。厚生労働省から発表された平成22年の定期健康診断実施結果における有所見率は52.5%（群馬県53.2%）と昨年に比べ0.2ポイント（群馬県-0.6ポイント）高く、増加傾向が続いています。

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei11/h22.html>)

当センターでは、メンタルヘルス対策のほかにも健康確保・増進セミナーとしてたくさんの方の産業保健セミナーを行っています。各事業所における健康確保対策としてお役立てください。

50人以上の事業場では定期健康診断を実施した際に、労働基準監督署へ提出する定期健康診断実施結果報告書がありますが、届出用紙は、上記のホームページから印刷して利用できます。

産業保健セミナー（9・10月の予定）のご案内

当センターの産業保健セミナー（9・10月分）を掲載します。受講料・教材費は無料です。

*セミナーは、できるだけ計画通り実施したいと考えていますが、電力不足により、プロジェクター等機器の使用ができなくなったり、場合によっては、会場や交通機関の

状況等により、研修の中止や日程・会場の変更をすることがあります。

お手数ですが、直前にホームページ

<http://www.gummasanpo.jp/seminar/index.html>

でご確認の上ご参加ください。

(申し込みいただいた後の変更については、連絡先がはっきりしている方には、センターからご連絡いたします。)

◎メンタルヘルス対策実務向上セミナー

☆ カウンセリング（中級）

開催日時 9月7日（水）13：30～16：30

会 場 群馬産業保健推進センター（定員 20 名）

講 師 大小原 利信 氏（㈱ラポール企画 代表）

内 容 カウンセリング（初級）で学んだ“傾聴”を実習しながらさらに学んでいくとともに、厳しい社会環境の中で自殺念慮などの相談場面に出会う事が少なくありません。そのような時の相談者の対応を理解していきます。

☆ 治りづらい現代型うつ

開催日時 9月9日（金）14：00～16：00

会 場 三洋電機㈱

講 師 渡辺 俊之 相談員（高崎健康福祉大学大学院教授）

内 容 昨今、古典的なメランコリータイプのうつ病とは異なり、罪責感が少なく薬物療法にも反応しないうつ病が増えています。「現代型うつ」とも呼ばれるこの病態について原因、症状、治療について説明します。

☆ 管理者に求められるラインケアとセルフケア

開催日時 9月27日（火）14：00～16：00

会 場 群馬県公社総合ビル（定員 50 名）

講 師 松岡 治子 相談員（心理士・社会保険労務士）

内 容 管理者はラインケアの役割を持つ支援者であるとともに、管理者自身も労働者であり、メンタルヘルスに関するセルフケアが重要です。自分の性格傾向やストレス度等を知るための質問紙を用いて、自分自身への気づきを高めつつ、ラインケアとセルフケアについて考える機会とします。

☆ カウンセリング（中級）

開催日時 10月5日（水）13：30～16：30

会 場 群馬産業保健推進センター（定員 20 名）

講 師 浅野 良雄 相談員（対話法研究所所長・臨床心理学修士）

内 容 相談業務における対話では、カウンセリングで使われる「傾聴」や「共感」の技法が役立ちます。しかし、これらは、知識として知っているだけでは不十分です。セミナーでは講師が考案した「確認型応答」という具体的なスキルを中心に、相談における対話のコツを実習します。

☆ 「今なぜ、コミュニケーションなのか」～問われるコミュニケーション能力～

開催日時 10月11日（火）14：00～16：00

会 場 太田市学習文化センター（定員 50 名）
講 師 嶋方 喜斌 氏（カウンセリングルーム「雨あがり」主宰）
内 容 グローバルな時代に則した多彩な人材が求められる中で、社員のコミュニケーション能力が、企業の緊急課題になっています。今問題になっている「パワハラ」も「こころの病」もこのコミュニケーション能力の問題でもあります。事例を通して考えます。

☆ メンタルヘルス不全者の休職と職場復帰

開催日時 10 月 20 日（木）14：00～16：00
会 場 群馬県公社総合ビル（定員 50 名）
講 師 椎原 康史 相談員（群馬大学医学部保健学科教授）
内 容 メンタル疾患での休職と職場復帰について、部下への安全配慮義務、専門医への受診と休養のすすめ、療養中および復職前後の対応、復職支援はなぜ必要か？うつ状態にある人への接し方などを具体的に解説します。

◎健康確保・増進対策セミナー

☆ 腰痛対策としての骨粗しょう症

開催日時 9 月 8 日（木）13：00～15：00
会 場 群馬産業保健推進センター（定員 20 名）
講 師 中村 保子 相談員（前橋赤十字病院内科部長）
内 容 腰痛は製造業だけでなく、どの職種においても大きな問題になっています。近年骨粗しょう症治療は、新しい治療薬の開発により早期からの介入治療に焦点が集まっています。最近の治療法や職場改善へのサポートなど話してみたいと思います。

☆ 職場の消化器疾患

開催日時 9 月 14 日（水）14：00～16：00
会 場 高崎市総合福祉センター会議室 4（定員 50 名）
講 師 田中 義 相談員（田中医院院長）
内 容 一般的に一番多い疾患は消化器疾患です。難治性潰瘍はストレスとの関係も深く、職場に多い疾患です。最近はピロリ菌の除菌と投薬で、簡単に治ります。肝炎の治療もかなり進歩しています。胃と肝臓の病気を中心にお話します。

☆ 新型インフルエンザ対策

開催日時 10 月 6 日（木）14：00～16：00
会 場 群馬県公社総合ビル（定員 50 名）
講 師 藤田 晴康 相談員（赤城病院内科部長）
内 容 （新型）インフルエンザに対するこれまでの対策を振り返り、評価と反省を行いながら、今後の新たな流行に備える工夫を考察します。（なお、流行の状況によって内容が変わります。）

☆ 非正規労働者の健康管理

開催日時 10 月 25 日（火）14：00～16：00
会 場 群馬産業保健推進センター（定員 20 名）
講 師 倉富 雄四郎 氏（富士重工業㈱専属産業医）

内 容 雇用形態が多様化し、職場にはさまざまな立場の非正規労働者が働いています。事業主の安全配慮義務という観点では、三管理全般について管理責任の所在がどこにあるのかを確認しておくことが重要です。今回は健康管理について考えて見たいと思います。

☆ 効果的な特定保健指導の展開

開催日時 10月26日（水）14：00～16：00
会 場 群馬産業保健推進センター（定員20名）
講 師 佐藤 由美 相談員（群馬大学医学部保健学科教授）
内 容 特定健診・保健指導は平成20年度の制度導入から3年間の実施を経て、平成24年度には第1期の実施計画評価・見直しを行わなければなりません。これまでの実績について全国レベルの実態調査や各自治体、企業等での研究報告も出されているため、それらを概観しながら、健診受診率向上、保健指導利用率・終了率向上、保健指導による生活習慣改善率向上等に関わる要因や効果的な取り組みの工夫を紹介します。

◎作業環境管理対策セミナー

☆ 有機溶剤と粉じんの管理について

開催日時 9月13日（火）14：00～16：00
会 場 太田市学習文化センター 第二研修室（定員36名）
講 師 大澤 武克 相談員（労働衛生コンサルタント）
内 容 どこにでもある溶剤の取り扱いに関する注意事項、粉じん取り扱い作業者のじん肺発症の増加対策について解説、測定用貸出し機器の取り扱いについても説明を行います。

◎関係法令解説セミナー

☆ こんな通達知っていますか？（健康診断について）

開催日時 9月16日（金）14：00～16：00
会 場 群馬産業保健推進センター（定員20名）
講 師 関口 光男 相談員（労働安全コンサルタント）
内 容 有機溶剤取扱者等の特殊健康診断については、労働安全衛生法に基づく特別規則で定められていますが、これら以外にいわゆる「通達に基づく特殊健康診断」が示されています。どのようなものがあるでしょう。根拠条文は労働安全衛生法第66条第2項にあるのです。

◎認定産業医研修

☆ 歯科保健から考える生活習慣病

開催日時 9月29日（木）15：00～17：00
会 場 前橋テルサ けやき
講 師 山口 達雄 相談員（労働衛生コンサルタント）
内 容 事業場での歯科健診は重要です。「成人歯科健診」と「産業歯科健診」の違いと、産業歯科医による歯科健診を行わなければならない職場を

職業性口腔疾患と共に説明します。また歯周病が全身に与える影響を解説します。

☆ 局所排気装置の見直し

開催日時 10月13日（木）15：00～17：00
会 場 前橋テルサ けやき
講 師 柿沼 泰明 相談員（労働衛生コンサルタント）
内 容 粉じん、有機溶剤等化学物質を取り扱う職場では、作業環境改善のため局所排気装置が多用されていますが、設計・管理上の不備や使用方法の間違い等がよく見られます。不良な事例を参考に有効活用の対策を考えてみようと思います。

☆各セミナーのお申し込みは、当センターホームページからどうぞ

→ <http://www.gummasanpo.jp/seminar/index.html>

8月のセミナー結果

◎メンタルヘルス対策実務向上セミナー

☆ メンタルヘルスと家族の連携

開催日時 8月19日（金）14：00～16：00
会 場 群馬県公社総合ビル 1階東研修室（定員50名）
講 師 渡辺 俊之 相談員（高崎健康福祉大学大学院教授）
参加者 4名
内 容 家族関係はメンタルヘルスにも影響し、精神症状（うつ病、不安障害など）の原因にもなるが、メンタルヘルス不全者の支援者としての意味が大きいことを説明いただきました。参加者からは「産業領域とは異なる印象を受けたが、内容は面白かった」とのご意見をいただきました。

☆ メンタルヘルス不調者への対応（その1）

開催日時 8月25日（木）14：00～16：00
会 場 太田市学習文化センター 第二研修室（定員36名）
講 師 鈴木 浄美 相談員（カウンセリングオフィスハルモニア代表）
参加者 11名
内 容 メンタル不調者との対応や復職支援について、具体的なケースを取り上げて説明いただきました。参加者からは「具体的な対応について聞くことができ、活用していけそう」などのご意見をいただきました。

◎健康確保・増進対策セミナー

☆ 健診データのまとめ方と活用（その4）

開催日時 8月4日（木）14：00～16：00
会 場 群馬産業保健推進センター
講 師 藤田 晴康 相談員（赤城病院内科部長）

参加者 15名
内 容 一般的な表計算ソフトであるエクセルを用いて健診データを効率的にまとめるコツと結果報告の要点を説明していただきました。参加者の方から「実務に役立つ」「健康診断や保健指導に関する評価のための統計を充実させられる」とのご意見をいただきました。

◎衛生管理者実務向上セミナー

☆ 最新の労働衛生事情を監督署長と現場の衛生管理者に聞く

開催日時 8月23日（火）14：00～16：00
会 場 高崎市総合福祉センター会議室2（定員45名）
講 師 三益半導体㈱ 籠谷 晋行 氏
参加者 7名
内 容 労働基準監督署長から最近の労働衛生事情をお話いただき、企業の衛生管理者から自社の活動状況をお話いただきました。参加者の方から「他社の活動内容が聞けて有益だった」とのご意見をいただきました。

◎認定産業医研修

☆ 保護具について

開催日時 8月18日（木）15：00～17：00
会 場 前橋テルサ けやき
講 師 大澤武克相談員（労働衛生コンサルタント）
参加者 24名
内 容 ヘルメットなどの「安全」に係る保護具の用途や安全性について説明いただき、「衛生」に係る保護具であるマスクについて、取り扱いの実習を行いました。参加者の方から「普段の巡視では見過ごしていたことに気が付かされた」「実際に装着する体験ができて有益だった」などのご意見をいただきました。

（研修風景の写真は当センターホームページからご覧になれます。）

関係機関の動き

- 1 群馬労働基準協会連合会では、メンタルヘルス推進担当者養成研修（有料セミナー）を開催します。詳しくはこちらから
<http://www.gunkiren.or.jp/course/image/mentaru-semi.pdf>
- 2 厚生労働省では、平成23年度 認知行動療法研修事業として精神保健医療に従事する医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、薬剤師、臨床心理技術者を対象とした「うつ病の認知療法・認知行動療法研修会」の受講者（受講費無料）を募集しています。
他職種向け→<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/kokoro/dl/07.pdf>
- 3 社団法人日本精神神経科診療所協会等が主催する「第5回産業メンタルヘルス講演

会「企業経営と産業メンタルヘルス問題」が開催されます。

<http://www.japc.or.jp/info.html>

対象は、メンタルヘルス対策に興味をお持ちの産業医等産業保健スタッフ、事業所人事担当者等であり、参加費は無料です。

- 4 8月1日から改正された石綿障害予防規則について、厚生労働省のリーフレットが掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/pamph/index.html>

- 5 社団法人日本産業カウンセラー協会が主催する自殺予防ダイヤル相談「働く人の電話相談室」が実施されます。実施日は、9月8日、9日、10日 10:00～22:00、電話番号は0120-583358です。

<http://www.counselor.or.jp/news/110801.html>

- 6 厚生労働省提供のポータルサイト「こころの耳」に、心身の不調や不安・悩み等メンタルヘルスに関するメール相談窓口「こころの耳メール相談」が開設されました。

<http://kokoro.mhlw.go.jp/etc/mail-soudan.html>

- 7 第25回（平成23年度）全国作業環境測定・評価推進運動（主催者 社団法人 日本作業環境測定協会）が平成23年9月1日から9月30日まで実施されます。

<http://www.jawe.or.jp/sagyou/camp/cam2011.htm>

近年、事業場に新たな機械設備・原材料、化学物質等が早いテンポで導入され、働く方々の作業環境における危険・有害要因が複雑化、多様化しています。これらにかかる「リスク評価、リスク管理」のために、作業環境測定の重要性はますます高まっています。

気象庁の3か月予報によると9月は残暑が厳しいとされています。企業や各家庭での節電の取り組みが功を奏したのか、心配された大規模停電は発生していませんが、さらに節電に取り組みつつも、熱中症予防に努めてください。

=====

<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp

=====

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966